

皆さん、おはようございます。今日で、1学期も終わり、明日から夏休みですね。夏休みは、普段より、時間的・空間的に余裕があります。それを活かして、日ごろやりたくてもできなかったことに、果敢にCHALLENGEしてください。四條畷高校を離れての活動も増えますね。

例えば、課題研究の皆さんの代表として、2つのグループが、7月25日から29日にシンガポールで、1つのグループが、8月7、8日にSSH全国大会で発表してくれます。研究成果の発表を通じて、アジアや日本のすごい高校生たちと交流を深めてください。この後、決意表明をしてくれます。また大阪府の産業技術総合研究所訪問、数学オリンピックやイングリッシュキャンプ、アメリカの高校生との交流、関東地区でのサイエンス研修、GLHSのアメリカ研修に参加してくれる人もいます。多くのものを学んできてください。

部活動では、珠算同好会が7月23日に兵庫県で開催される「そろばんグランプリジャパン2019」に、卓球部が7月25日に奈良県で開催される近畿大会に、囲碁同好会が7月27、28日に佐賀県で開催される「第43回全国高等学校総合文化祭」に、大阪代表として出場します。近畿や全国の強豪との対戦で「さらなる高み」をめざしてください。軽音楽部は、7月20日に「72期追い出しLIVE」を開催、吹奏楽部は、7月28日に「大阪府吹奏楽コンクール」に出場します。日頃の練習で磨いた自己表現を通じて、多くの人に感動を与えてください。また多くの部が、この夏、合宿を行います。技術や体力とともにチームワークも磨いて、今後の大会や発表会に備えましょう。ただし、熱中症には、くれぐれも気を付けてくださいね。

さて、春アニメが終わり、夏アニメが始まりました。このクールは、サバイバルものが多いですね。「ソウナンですか?」「彼方のアストラ」。その中でも、私は「Dr. STONE」が好きです。まだ2回しか放映されていませんが、なぜか全人類が石化する怪現象が発生し、近代文明が途絶してしまいました。3700年経った時、まず知力に優れた高校生科学者、石神 千空（いしがみ せんくう）君の石化が解け、半年後、体力に優れた、大木 大樹（おおき たいじゅ）君の石化が解けます。この二人を主人公に、

「人類が築いた石の時代から近代文明までの200万年を、一気に駆け上がり、世界を取り戻す。」のが、「Dr. STONE」の世界観。その過程で、科学の実験が、たくさん登場します。例えば、第1話では、蝙蝠の糞尿から硝酸を作り、ブドウからワインを作り、そのワインを蒸留して作ったエタノールと硝酸を合成して、工業用の腐食液「ナイタール」を作り出します。その「ナイタール」を使って、石化した仲間をよみがえらせていくのですが、何百回も、仮説と実験、TRIAL and ERRORを繰り返す過程で、大樹（たいじゅ）君が、「科学ではわからんことも、この世の中には、あるってことか」と、お決まりのセリフを言ったときの、千空（せんくう）君のセリフが、そそります。

「教えてやるよ デカブツ 『科学ではわからないこともある』じゃねえ

わからねえことにルールを探す そのクツソ地道な努力を科学って呼んでるだけだ！」

このセリフを聞いたとき、思わずコミック11巻全巻を大人買いしようかと思いました。ただ「いたい、どこに置くね」と家族の同意を得られそうにないので断念しています。

そして今日の一曲。THE BLUE HEARTS「情熱の薔薇」。

「永遠なのか本当か 時の流れは続くのか

いつまで経っても変わらない そんな物あるだろうか

見てきた物や聞いた事 いままで覚えた全部

でたらめだったら面白い そんな気持ち分かるでしょう」

(THE BLUE HEARTS「情熱の薔薇」 作詞 甲本ヒロト)

「そんな気持ち分かるでしょう」と言われても、特に3年生は、本格的に受験勉強中やのに「いままで覚えた全部が、でたらめやったら、この努力は、どうしてくれんね。」と思うでしょうが、でも私には、結構このフレーズ、自分の中では、腑に落ちて、「そんな気持ち分かる」んです。

オックスフォード大学で、AI（人工知能）を研究している学者が発表した論文によると、「アメリカの総雇用者の仕事のうち、47%は、10～20年後には、機械によって代わられる。」と予測しています。グーグルのCEOラリー・ページも、「20年後、あなたが望もうが、望むまいが、現在の仕事のほとんどが機械によって代行される。」と言っています。これらの予測が正しければ、いままで覚えたことが、でたらめではないにしろ、近い将来、役に立たなくなることが、十分起こりえます。ページは、さらに「創造性を必要としない仕事は、すべてテクノロジーに代行される。」とも言っています。

それでも、世界は、いままでも、そしてこれからも、人間が作っていきます。テクノロジーは、人間を補助するものであっても、人間に替わるものではありません。課題の解決に、コンピュータなどを活用したとしても、最後に判断し、答えを出すのは、やはり人間です。その際、ポイントとなるのは、この「創造性」だと思います。そして創造性を発揮するには、柔軟な発想が必要です。既成概念にとらわれず、常識を、すべて疑ってみる。行き詰ったら、一旦、全部リセットして、初めから考え直す。ときには、こういう「開き直り」ともいえる態度も必要だと思います。

この夏休み、思いっきり、頭も柔らかく、鍛えましょう。また8月20日に、元気な顔でお会いできることを楽しみにしております。